



たんぽぽ通信



武蔵村山病院 病児保育室「たんぽぽ」

2026年3月

たんぽぽ
通信って？

「たんぽぽ通信」は、病児保育室「たんぽぽ」から、市内の教育・保育施設へ向けて情報を発信していくお便りです。みなさまのお役に立つ情報を提供していきます。



2025年度たんぽぽ保育室利用状況



今年度、たんぽぽ保育室を利用されたお子さまの主な疾患は、急性上気道炎、気管支炎、肺炎でした。続いて、アデノウイルスによる咽頭結膜熱の利用も多く見られました。また、9月後半からはインフルエンザAが流行し、年明け1月からはインフルエンザBが猛威をふるい、3月に入ってもなお流行が続いています。引き続き、手洗い・うがいなどの基本的な感染対策を心がけ、体調管理に努めていきましょう。

たんぽぽ保育室からのお願い



いつも水分や昼食・おやつ準備にご協力いただき、ありがとうございます。

体調がすぐれない時にも食べやすいものをご用意いただいたり、水筒やペットボトルで飲み物を持たせていただいたりと、日頃の温かいご配慮に感謝しております。

発熱時や体調不良の際は、普段より多くの水分が必要になります。体調に応じて、少し多めに水分をご用意いただけますと安心です。ご協力をよろしくお願いいたします。また、1歳半頃～就学前のお子さま向けの幼児食の工夫についてもご紹介しています。発達や体調には個人差がありますので、無理のない範囲で参考にいただければと思います。

4月は入学・進級の季節ですね。新しい環境に向けて、元気に新年度を迎えられるようにしていきましょう。



1歳半頃～就学前の「誤えんや窒息」防ぐ食事の工夫



食材	特徴	発生しやすい事態	工夫
かまぼこ、こんにやく イカ、タコ	弾力がある	喉に詰まりやすい	この時期には控える
豆、トマト	皮が口に残る	飲み込みにくい	事前に皮をむく
ワカメ、レタス	ペラペラする	喉に張り付きやすい	加熱して細かく刻む
パン、ゆで卵 サツマイモ	唾液を吸う	喉に詰まりやすい	食べやすいように 水分を加える
ひき肉、ブロッコリー	口の中でまとまりにくい	飲み込みにくい	とろみをつける
ミニトマト、ブドウ うずらの卵	誤えん、窒息しやすい	窒息しやすい	1/4に切る 加熱処理して柔らかくする
薄切り(スライス)肉	かみにくく、口に残る	残りやすい	加熱後叩いたり切ったりする



【お問い合わせ】 武蔵村山病院 3C小児科病棟 042-566-3367 (日曜日～土曜日 8:00～17:00)

